

■前島密 内務官僚。郵便制度の創始・電話事業の開始・国字改良など、維新直後のメディア近代化に決定的役割。

まえじまひそか

滑稽+人情本 1835= 越後国下池部村(上越市)で、豪農上野家に生まれた。この年、父が病没し、

大塩平八郎乱1837= 2歳：

もっぱら母に養育される。

天保改革弾圧1842= 7歳：糸魚川に移ったのち叔父の藩医相沢文仲の養子となる。

天保改革終・1844= 9歳：

阿部正弘首座1845=10歳：高田の倉石典太の塾に入る。

・・・・・・1847=12歳：江戸に出て漢学、蘭学を学ぶ。

叔父の死去で復籍し、

幕府の医官について苦学のかたわら、写本の筆耕にたづさわり兵法を修得。

ペリー来航・1853=18歳：米艦を見るため浦賀に赴く。

開国開港・・1854=19歳：国防の策を立てようと西日本の海岸線を視察。

安政大地震・1855=20歳：西洋砲術を学び、英学に開眼。

蕃書調所・・1857=22歳：幕府の海軍操練所の見習生となり、機関学、操船術を学ぶ。

五ヶ国条約・1858=23歳：箱館開成所に入る。

安政の大獄・1859=24歳：航海学実習生として箱館丸に乗り込み、日本の沿海を一周。

桜田門外変・1860=25歳：再び沿海を周航。

遣欧使節・・1861=26歳：対馬に赴いたのち長崎へ、

生麦事件・・1862=27歳：この年より長崎に滞在して学ぶ。

8月18日政変 1863=28歳：訪欧を企てるが失敗。

禁門の変・・1864=29歳：長崎に私塾を開く。

薩摩藩士密航1865=30歳：薩摩藩に招かれて鹿児島で英学を教授ののち江戸に帰る。

薩長同盟・・1866=31歳：結婚し、幕臣前島家を継ぐ。早くも「漢字御廢止之議」を建議し、国字改良論者として知られるようになる。

大政奉還・・1867=32歳：開成所の数学教授ののち、神戸開港の事務に従事。慶喜に「領地削減之議」を建議。

明治維新・・1868=33歳：江戸に戻って、大久保利通に「江戸遷都」を建言したのち、駿河藩御用ため静岡に移る。

戊辰戦争終・1869=34歳：明治政府の民部省に出仕。

初の日刊新聞1870=35歳：*租税権正と駅逓権正を兼任し、郵便創業の建議を行ったのち、渡欧。

廃藩置県・・1871=36歳：この建議に基づいて郵便事業は、彼がイギリス出張中に創業された。帰国後、駅逓頭に就任し、郵便切手の發行、郵便ボストの設置、時間を設定した業務運行を実施、「郵便」という名称も考案。

明治6年政変 1873=38歳：{ひらがなしんぶんし}を創刊。均一料金制の実施、郵便事業の独占、日米郵便交換条約の締結。

初の民間工場1875=40歳：郵便貯金の創業。

三つの反乱・1876=41歳：内務少輔になる。相変わらず駅逓頭を兼任。

西南戦争・・1877=42歳：*万国郵便連合への加入も彼の指導による。駅逓局長を兼任。

大久保暗殺・1878=43歳：元老院議官を兼務。

・・・・・・1880=45歳：内務大輔になる。

明治14年政変1881=46歳：明治14年の政変で大隈重信らと下野した。

新体詩抄・・1882=47歳：改進党の結成に参画。東京専門学校(早稲田大学の前身)の創立に尽力。

国民之友始・1887=52歳：東京専門学校校長に3年間就任。関西鉄道株式会社社長に就任。

初の対等条約1888=53歳：*通信次官に復帰すると、

帝国憲法発布1889=54歳：郵便及電話局官制の制定に尽力。定期刊行物問題を解決。

帝国議会始・1890=55歳：東京郵便電信学校の設立に尽力。電話事業を国営で創業にこぎつけて、

足尾鉱毒始・1891=56歳：*引退。

日清戦争始・1894=59歳：北越鉄道株式会社社長に就任。

子規句歌革新1898=63歳：

Bushidou・・1899=64歳：帝国教育会の国字改良部部長になる。

ピアノ国産化・1900=65歳：以降3年、国語調査委員長をつとめる。

教科書疑獄・1902=67歳：男爵を授けられる

日露戦争始・1904=69歳：貴族院議員。

日露戦争終・1905=70歳：日本会員掖済会理事長に就任。

韓国反日暴動1907=72歳：

韓国併合・・1910=75歳：ほとんどすべての役職から退き、

民本主義・・1916=81歳：

ロシア革命・1917=83歳：妻が死去。

ベーリー条約・1919=84歳：没した。